

平成26年度

北海道森と緑の会 活動報告

当会の歩みは、昭和25年に「緑の羽根募金」運動のスタートとともに発足した前身の「北海道緑化推進委員会」から始まりました。以来、道内各地で森づくり・緑化活動、緑の少年団の育成、各種ボランティア団体の活動支援などを行っています。平成26年度は以下のような事業を実施しました。関係者の皆さまのご協力に感謝いたします。

本育関係の活動は、7ページで紹介しています。

積水化学・水源の森づくり植樹会

積水化学工業株式会社



■当別町・道民の森
■参加者/81名

9月13日、今回で2年目となる植樹会を実施し、積水化学(東京)、北海道セキスイハイム、北海道セキスイハイム工業、積水化学北海道の社員や家族が、ヤチダモやバルニレ、エゾヤマザクラなど、200本を植樹しました。

森を育てよう! 親と子協働の森づくり植樹会



■札幌市・白旗山
■参加者/52名

9月27日に、公募参加の親子とともに、毎年恒例の植樹会を開催。森林散策、簡単な道具で木の高さを測る森の調査体験、苗づくり体験を通じ、親子で森に入り自然に親しんでもらう機会を提供しました。

全道緑の少年団交流大会



■当別町・道民の森
■参加者/
緑の少年団(道内5団体)

8月3日・4日、全道から5つの緑の少年団が参加。それぞれが活動発表を行ったほか、森林散策や木登り体験、木工、星空観察などを行いながら、1泊2日でいろいろな地域の人たちと交流を深めました。

道民森づくりネットワークの集い2014



■札幌市・道庁前庭
■来場者/2,200名

10月18日、47の企業や団体が出展し、気軽に森と木の魅力に触れられるさまざまなイベントを実施。体験プログラムや木を使ったグッズの紹介、試食などを通じて、森のしくみや暮らしとの関係を道民に伝えました。

ボランティアを対象としたチェーンソー取り扱い研修会



■恵庭市・七飯町
■参加者/24名

9月28日に恵庭市で、11月16日に七飯町で、森づくりに携わるボランティア団体の参加者を対象に、チェーンソーで安全に作業を行うための講習会を開催しました。